

よもぎた 議会だより

議会を傍聴しませんか
次の定例会は
6月10～12日開催予定です

第225号(令和8年5月13日発行)



春の作業始まる

田起こしに励む就農4年目の細谷健太さん(蓬田)。田植えに向けた準備が着々と進んでいます。

目次

- 新年度予算を審議可決 第1回定例会・・・P 2
- 予算特別委員会・・・・・・・・・・P 6
- あなたの声を村政に 一般質問 3議員・・・P 8
- 議員の主な活動・・・・・・・・・・P12

U R L <https://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/gikai/>
E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村大字阿弥陀川字汐干126番地1/TEL 0174-31-0833



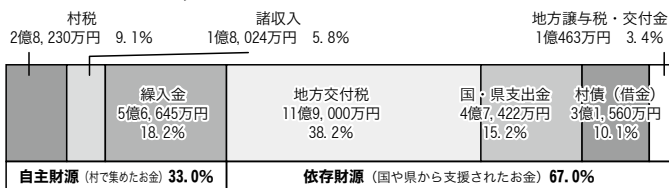
令和8年 第1回 定例会

新年度予算を審議可決

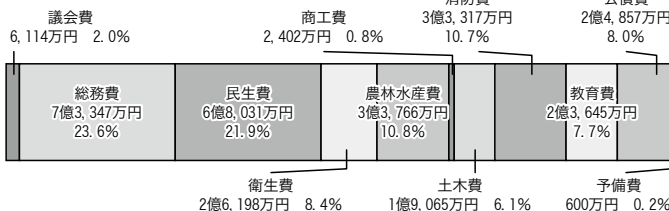
第1回定例会が、3月3日から6日の4日間開催されました。条例の改正、補正予算などの議案12件を審議し、すべて原案どおり可決されました。

一般会計

歳入 31億1,344万円



歳出 31億1,344万円



会計名	予算総額	前年度比率
一般会計	31億1,344万円	-29.4%
特別会計		
学校給食センター	4,443万円	+30.4%
国民健康保険	4億5,162円	-5.1%
介護保険	5億7,167万円	+10.1%
後期高齢者医療保険	1億153万円	+6.6%
事業会計		
簡易水道	1億687万円	+4.2%

令和8年度施政方針



八戸 慎幸村長

- 1. 一次産業の基盤強化**
基幹産業の水稲において、更なる生産基盤強化を図る継続事業として、大規模かつ長期事業となつていくライスセンター改修工事と基盤整備事業を行い、水稲の安定的生産の確保と生産効率の向上を図る。
農業用ハウス等導入支援事業や振興野菜パワーアップ支援事業を行い、地域農業、全体の生産体制強化の支援をしていく。
水産分野では、ホタテガイ養殖において高水温による親貝の大量へい死で令和8年産稚貝の確保が困難で今後減産が見込まれるため、共済加入事業補助の実施、漁港施設、機能強化事業の継続実施等漁業経営の安定・強化を支援していく。
- 2. 第三セクターの経営改善**
蓬田紳装の機構改革に着手しながら生産体制を強化し、新たな雇用創出につながる様な取組を実施していく。
ふるさと納税の増収に取組み自主財源確保を図る。
- 3. 人口減少対策**
移住・定住に向けた空き家の活用方法を見いだすとともに、人口流出抑制に向けた魅力ある村政運営を推進する。
- 4. 教育の充実**
小、中学校の学力向上と不登校児童の減少を目指し「蓬田村塾(仮称)」を開設する。
家庭学習支援の強化を図る事業や進学時の助成を行うなどきめ細やかな支援策を講じ、教育環境の充実を図っていく。
- 5. 高齢者福祉**
高齢者が健康で生きがいを持ち地域との繋がりを深め、日々の生活に張り合いを持てる環境づくりを進める。社会福祉協議会と連携し、抛り所の整備や農福連携事業を拡充していく。
本年は国スポにおける本村のデモンストレーション競技であるモルックを活用し、多世代交流を図る。
- 6. 地域防災の強化**
災害に強い村づくりを進めるため消防団屯所の建て替えや小型動力ポンプ積載車の更新等を行うとともに、避難所環境の整備と災害備蓄品の確保を進める。
- 7. 行財政改革**
行政サービスの効率化と向上を図るため、スマートフォン等による行政手続や情報閲覧の可能なオンラインサービスの導入を行う。
また、住民サービス向上のため役場組織の業務分担の見直しも検討していく。

令和8年度の主な事業

まちづくり

○旧庁舎解体設計業務委託料 768万円

令和9年度に旧庁舎を解体するための設計業務を委託します。



○関根股沢橋補修工事費 4,280万円

高根地区の関根股沢橋が、経年劣化によるひび割れ等が見られるため補修します。



産業

○ライスセンター南棟屋根外壁等修繕工事 6,188万円

令和8、9年度で南棟屋根などの修理が行われます。



○県営蓬田第一地区経営体育成基盤整備事業負担金 5,483万円

蓬田地区のほ場整備が行われています。



住民サービス

○オンライン行政手続等クラウド利用関係費 128万円

ラインアプリで防災情報の発信などの通知を行います。
今後は行政手続き申請ができるように進めています。



消防

○第4分団屯所現況調査業務委託料 181万円

第4分団の屯所を改修することができるか調査を委託します。



○第3分団小型動力ポンプ積載車購入 1,931万円

第3分団の小型動力ポンプ積載車を入れ替えます。

物価高騰対策

○地域経済支援事業 2,700万円

物価高騰対応として、1人当たり1万円分の商品券の給付を蓬田村商工会に委託します。



教育

○学習支援事業 90万円

小学5年生～中学生対象の学習を支援する蓬田村塾（仮称）を開設します。



主な補正予算

■一般会計(専決)

衆議院議員選挙費

385万円

災害救助法除雪委託料

144万円

蓬田村降雪対策本部設置、災害救助法適用により、高齢世帯等の屋根の雪下ろの委託料として計上。

小学校修繕料 40万円

中学校修繕料 83万円

大雪の雪害等による校舎等の修繕のため計上。

■学校給食センター特別会計(専決)

ガス煮炊釜更新工事費

132万円

■一般会計

戸籍附票システム改修業務委託料 185万円

住民記録システム改修業務委託料 113万円

住民基本台帳法等の一部改正に伴い、システム改修業務を委託するもの。国10分の10の補助事業で、令和8年度に予算を繰り越して実施する。

保育所費施設型給付費等負担金 554万円
認定こども園等の公定価格が改正され増額する。
健康管理システム改修業務委託料 23万円
定期接種化された小児肺炎球菌ワクチンや带状疱疹ワクチンに係る予防接種情報マイナバー情報連携に対応するためのシステム改修するもの。
青森県ホタテガイ採苗緊急支援事業交付金 263万円
青森県が実施するホタテガイ稚貝確保に向けた採苗体制強化の支援事業のため計上。
ホタテ稚貝確保対策事業支援交付金 200万円
産卵期を迎えた親貝の出荷期を調整することで得られる効果を見込み、青森県及び陸奥湾沿岸の関係市町村等による支援事業を実施するため計上。蓬田村漁業協同組合からの要望により対応したもの。
蓬田村防災ハザードマップ

更新業務委託料 418万円

県が管理する広瀬川、瀬辺地川、小川平川、阿弥陀川の洪水浸水想定区域の指定を公表したことによるハザードマップ令和4年度版更新のため計上。国から3分の1と県から3分の1補助される。

防災備品購入費 761万円

避難生活環境改善のため、スポットクーラー16台、防災テント50張り、簡易ベッド100台を購入するため計上。国から2分の1補助される。

ふるさと総合センター、農業者トレーニングセンター、小学校、中学校へ令和8年度に予算を繰越して配置する予定。

介護保険特別会計 607万円

居宅介護サービス給付費負担金 300万円
短期入所生活介護の利用者の増などに伴い計上。

蓬田村道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

健康づくり推進協議会委員に歯科医師を加えるもの。

蓬田村道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

道路法改正により占用料の算定に係る基準が改められたため、適正な額に見直すもの。

会計	補正金額	予算総額
一般会計(専決)	385万円	47億8,742万円
一般会計(専決)	461万円	47億9,202万円
一般会計	1,896万円	48億1,098万円
特別会計		
学校給食センター(専決)	132万円	3,864万円
介護保険	607万円	5億3,709万円

(千円単位四捨五入)

条例改正

蓬田村健康づくり推進協議会設置条例の一部を改正する条例

健康づくり推進協議会委員に歯科医師を加えるもの。

蓬田村道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例

道路法改正により占用料の算定に係る基準が改められたため、適正な額に見直すもの。

反対討論



坂本豊議員

国保税が高過ぎて毎年滞納が発生している。国が負担を減らした分を村が補う予算を求めていく。

第三セクターの委託料は、よもぎたアシストへ温泉、マルシェ合わせて4540万円、蓬田神装も4000万円ほどで、約1億円近い増額が予想される。この赤字を解消する対策が不十分ではないか。

農林水産業予算は新規就農者の予算ばかりである。稲作農家にも後継者が残れるよう助成をするべきだ。

また、高温海水に耐えられるホタテを探す政策を進め、村が率先して資金を出し研究すべきだ。

人事案件

■蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
 ・固定資産評価審査委員会委員の任期が満了し、選任について同意を得た。任期は令和8年4月1日～令和11年3月31日。



佐井勝治さん
(広瀬)

陳情

■資料配布
 ・mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書（宇井 淳）
 ・東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情書（パワハラから職員を守る青森県民の会）

一目でわかる審議内容と結果

○：賛成 ×：反対

議決結果	賛成：反対	議員名										
		小 鹿 重 一	柿 崎 裕 二	坂 本 豊	久 慈 省 悟	川 崎 憲 二	森 弘 美	吉 田 勉	乳 井 巖 公			
報告第1号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算（第10号）の専決処分について	認定	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算（第11号）の専決処分について	認定	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	令和7年度蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第4号）の専決処分について	認定	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	蓬田村健康づくり推進協議会設置条例の一部を改正する条例	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	蓬田村道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	蓬田村過疎地域持続的発展計画策定の件	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会	議案第6号	令和7年度蓬田村一般会計補正予算（第12号）	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和7年度蓬田村介護保険特別会計補正予算（第5号）	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	令和8年度蓬田村一般会計予算	可決	6：1	-	○	×	○	○	○	○	○
	議案第9号	令和8年度蓬田村学校給食センター特別会計予算	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	令和8年度蓬田村国民健康保険特別会計予算	可決	6：1	-	○	×	○	○	○	○	○
	議案第11号	令和8年度蓬田村介護保険特別会計予算	可決	6：1	-	○	×	○	○	○	○	○
	議案第12号	令和8年度蓬田村後期高齢者医療特別会計予算	可決	6：1	-	○	×	○	○	○	○	○
	議案第13号	令和8年度蓬田村簡易水道事業会計予算	可決	7：0	-	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決	6：1	-	○	×	○	○	○	○	○



議長は、賛成と反対が同数のとき以外は採決に加わらないため「-」と表示しています。

予算特別委員会



村長から提案された新年度予算案について、その内容が適正であるかを審査します。

審査結果は本会議に報告され、その後採決が行われます。

3月3日、4日の2日間開会され、全会計予算が全て可決されました。

主な質疑

蓬田駅・郷沢駅駐輪場解体・新設工事

Q (柿崎委員) JR郷沢駅の駐輪場は村が設置したものでか。

A (稲葉総務課長) 土地は郷沢地区の個人の方の土地に建っている駐輪場で、建物は村が所有しているものと考えている。

Q (乳井委員) 蓬田駅、郷沢駅の駐輪場は、雪の影響を受けて相応しい状況だと思いが、工事はいつ頃行われる予定か。

A (総務課長) 蓬田駅については、JRからの土地を借りているためJRとの打合せが終わってからの工事になる。なるべく早い時期に進めていきたいと考えている。



雪害を受けた蓬田駅駐輪場

空家対策計画改定業務

Q (川崎委員) 79万2000円で今年改定ということだが令和3年度から令和7年度の業務内容と、今回の改定内容はどのようなものか。

A (総務課長) 令和3年度版で、今までの間でどれくらい空き家が増えているのかについて調査した。改定後は今まで調査してきた空き家がどれくらい危険空き家等になっているかを調査するものである。

農業用ハウス等導入支援事業補助金

Q (乳井委員) 今年の大雪で倒壊したハウスも補助の対象となるのか。あくまでも4月以降にやったものということになるのか。

A (高田産業振興課長) その被害を受けた者に対する補償という考えではなく、被害を受けたハウスの代わりに新設、更新などする場合について対象できる事業である。事業は令和8年度からのものである。新年度からということになる。

振興野菜パワーアップ支援事業補助金

Q (柿崎委員) 振興野菜で、予算の500万円は、どのように使われるのか。

A (産業振興課長) 村で指定をしている振興野菜は、トマト、ミニトマト、タマネギ、イチゴ、カボチャ、キュウリ、ナス、ネギ、バレイシヨ、ピーマン、ブロッコリー、ホウレンソウなどである。これらの生産販売を目的に作付している農業者等に対し、種苗の購入費を補助する事業となっている。

住宅管理費

Q (川崎委員) 修繕費815万6000円は、去年の約倍だが、高額な費用が掛かる修繕の予定があるのか。

A (高田建設課長) よもつと団地の電気温水器とIHヒーターが、年数が過ぎて修理対応できず新品交換になっていくため去年よりも上がっている。

第4分団屯所現状調査業務委託料

Q (柿崎委員) 委託料180万円は、老朽化した屯所の新築・修繕事業関連だが、調査後、新築、改修の場合はそれぞれどのくらい予算が見込まれるのか。

A (総務課長) 調査業務委託料は、改築か新築か判断をするための委託料になる。改築か新築かを決めて設計を組まないと金額は出せない状況である。人件費、部材費等が上がっている。概算額は分からない。

Q (柿崎委員) 今まで古い屯所の改築なり新築なりをしてきたが、一般的な認識で考えると、非常に高額な金額に感じる。県や国が示す設計や委託ではなく、村独自で村内の建築業者に入札をさせて屯所を建てることはできないのか。

A (総務課長) 工事費は一般住宅よりも高いが、人件費、材料費は、国県の基準、価格がある。公共事業であるので、その単価、諸経費にのってやるかそのような高い金額になる。

また、その単価を使って入札しないと、公共事業としては適切でないのではないかと考えている。

Q (柿崎委員) 屯所は消防車の車庫、団員が集う施設で、それほど厳密にやる必要があるのか疑問である。

今までの改築費用は、4,500万円と相当な経費だが、村内の建設業者で改築できれば、1分回の予算で2分回くらい屯所が建つ。少しでも安く基準を満たして建ててほしい。

A (総務課長) 役場が建築物の入札をするには設計書等がないとできないが、一般事務の者

が独自で設計書をつくることはできない。金額も、設計書に基づいて工事費がはじかれる。それに対して業者から入札してもらおう。単価もなく、どういった部材を使うというものもなく入札することはできないので、やはり設計業者に頼んでやるのがよいと考えている。

マルシェ指定管理料

Q (坂本委員) 蓬田物産館マルシェ指定管理料が1115万6000円と、昨年から約1.7倍増えているのはなぜか。

A (産業振興課長) 積算の段階で人件費、物価高騰等を考慮した予算増額となっている。ほかは、施設を運営するに当たり営業的な収入も含めて採算性をとっているが、その分も考慮した。

Q (坂本委員) マルシェの管理委託料

は毎年増えているが、上限幾らまで役場で補填するのか。

A (八戸村長) 今のところ上限を設ける予定はないが、1.7倍の増額に対してそのまま放置しておいていいと認識していない。営業内容を精査しつつ消費者や生産物を出荷する農家の意見をしっかりと踏まえ、今後新たな事業展開を行っていきたくと考えている。このまま増額をしていくという認識はない。



戸別受信機取り付け工事費

Q (小鹿委員) 屯所に戸別受信機をつける工事でよろしいか。

A (総務課長) これは取りつけを希望する家庭用として、戸別受信機、防災無線の部分の10件分を予算化している。

Q (久慈委員) 蓬田村も人口減少に伴って高齢の人たちが亡くなってきているが、空き家に設置したまま放置していることはないのか。

A (総務課長) 空き家になった場合はそれを取り外していると思っているが、調査はしていない。

給食センターで米飯を準備できないか

今後は高齢者が亡くなって空き家になった場合は外すようにしていく。

Q (坂本委員) 蓬田村の給食ではご飯は持参することになっているが、もしご飯を給食センターでつくるとしたら幾ら

くらいかかるのか。また、こういう変則的な給食は県内で行われている例があるのか。

A (八木澤教育課長) 今の給食センターの施設では、炊飯ができる機能やスペースがない。耐震の関係等もあり改築もできない状態である。ご飯を提供するにはいろいろな方向で考えていかなければいけないと思う。

ご飯を持参する給食は、県内では蓬田村だけである。

Q (坂本委員) 新たに給食センターを建設する費用は幾らくらい見込まれるのか。

また、給食センター建設の考えはないか。

A (教育課長) 場所、大きさ、また、使い方で金額が違ってくるので、この場ではお答えできない。

あなたの声を村政に

令和8年第1回定例会

一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長などに方針を問うものです。議員1人当たりの質問回数は1つの質問につき3回までです。

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 除雪隊の活動状況は	川崎憲二
10	1. 第4分団屯所改修工事状況はどうなったか 2. 中学校の除雪範囲を広げられないか	乳井徹公
11	1. 高齢者世帯の雪対策を考えているか	久慈省悟





かわ さき けん じ
川崎 憲二 議員

全文はこちら



除雪隊の活動状況は

(村)連続37日間だった

Q 1月20日頃の大寒波以降毎日が経験したことがない程の大雪だった。当村の除雪は他と比べられないくらい良い状態で、除雪隊と担当職員に心より敬意と感謝を表す。

られ、1月12日から2月17日までの37日連続勤務となった。

隊員の健康は大丈夫だったか

Q 37日間というのは1か月以上連続勤務とするということで、大変だったと思うが、事故や隊員の健康面は大丈夫だったのか。

A (建設課長) できるだけ昼夜連続勤務にならないよう、昼の作業は役場職員で対応したりもしたが、それでも隊員たちはかなり疲労がたまっていた。しかし、健康を害したということはない。

A (高田建設課長) 12月が10日、1月が25日、2月が22日、3月が4日だった。

除雪隊の連続勤務は何日か

Q 除雪隊の連続勤務は何日続いたのか。

A (建設課長) 今期の記録的な豪雪で長期間の連続勤務を強い

隊員の人数を増やせないか

Q 今の人数だと隊員が風邪や疲労等、体調が思わしくないとときも休めない。除雪隊員を確保するため、早めに募集し、除雪隊員が休んでも体制に影響が出ない、ローテーションができる人数を募集したほうが良いと思うが。

A (建設課長) 例年7月末から8月末までの1か月間を公募期間とし、村内回覧にて除雪隊員を募集している。今年度からは、より多くの方に周知することを目的に、村ホームページにおいても募集を実施した。来年度以降は公募開始時期を早めるなど、人員確保に必要な対策を講じていく。

A 人数は、新年度では欠員が出たときでも対応できるように1名増員したい。

増員1名では足りないのでは

Q 除雪隊は、休みが決められていないため予定が立たない、降雪が続くと連続勤務がきついので応募しないと聞いた。また、隊長は現場を見回したり、隊員のカバーなど全てを把握する立場であり、隊長を含めない人数で作業しなければならぬ。最低2名の増員が必要だと思うが。

A (建設課長) 隊員は自分のコースを熟知して除雪を行っているため、急に欠員が出て、そこに違う人が入っても難しいのが実情であるが、隊長が通常は作業から外れ、指示、指導や他隊員のカバーができれば最良だと思う。

A 増員した分の運用については、隊員たちとも相談しながら、まずは1名増で実施し、必要であれば2名増も検討していく。

隊員募集の対策はあるのか

Q 除雪隊員を募集してもなかなか応募がない、今後とも集まらないことが予想されるが、どのような対策を講じているのか。

A (建設課長) 賃金の引上げ、人員増による一人当たりの作業量の軽減、また降雪時には一部業者委託による昼夜連続勤務の軽減を実施し、待遇の改善を目指す。募集人数に満たないときには、情報を集め直接勧誘に当たる。

A (建設課長) 賃金の引上げ、人員増による一人当たりの作業量の軽減、また降雪時には一部業者委託による昼夜連続勤務の軽減を実施し、待遇の改善を目指す。募集人数に満たないときには、情報を集め直接勧誘に当たる。



乳井 竜一 議員

全文はこちら



第4分団屯所改修工事状況はどうなったか

(村)確認申請を提出することができない

Q 屯所の改修工事については、令和7年に建築基準法が改正されたため、受ける側の事情により改修工事の確認申請が出せなかったが、令和7年度内に設計、令和8年度に改修工事を行うとのことだった。

その後、確認申請はできたのか。

A (稲葉総務課長) 既存建築物の改修を行う場合は、現行基準への適合状況を確認するための確認申請の提出が必要だが、現在青森県において具体的な運用基準が示されていないことから、建築確認申請の作業及び提出には至っていない。
令和8年度で現況調査、改修工事を実施できるか県との協議結果を踏まえて、

改修または新築の設計業務を進めている。

予算規模はどのくらいか

Q 調査後のことにならるが、予算規模はどの程度を想定しているのか。

A (総務課長) 概算金額については、建設資材の高騰や労務単価が上がっていることから、設計業務が終わらないと金額は出すことができない。
Q 令和4年度第6分団改修は4000万円ほど、令和5年、6年度第5分団は4700万円以上の改修に伴う費用が使われた。公共工事といえど

移転することは可能か

も非常に高額であり、一般市民からはどうなのかという声がある。

屯所は、地域の集会場、避難所、防災拠点となることを踏まえれば、自治会や各分団と協議した上で、新築移転も選択肢にあるかと思うが、移転して新築することは可能なのか。

A (総務課長) 移転外のパイパスあたりで考えなければならぬと思う。そうなるか、土地を求めるところから始めていかないといけない。
早く進めていきたいところもあるが、そうなるまで工事期間等が遅れていくと考えている。

中学校の除雪範囲を広げられないか

(村)財源確保が難しい

Q 近年まれに見る大雪の影響で多くの人的被害、交通障害が発生していた。

村内では昼夜時間を問わず除雪隊の働きから、他とは比べものにならないくらい非常に良い状況であった。改めて除雪隊に敬意を表したい。

しかし、中学校敷地内の除雪については、駐車スペースが狭いと苦情が多数聞かれた。これは、校舎側と通路側に舗装されていない箇所があり、除雪車が通ることのできる道路しか除雪できないためだと思う。
中学校敷地内の舗装箇所を広げて、除雪可能な場所を広くとれるように対応するべきと思うがどうか。

A (八木澤教育課長) 中学校敷地内の舗装については、今までも予算要求はしているが財源の確保が難しいため工事の実施には至っていない。

今年は特に大雪であったため、除雪隊員の方々、職員、近隣住民の皆さんのご協力により、何とかスペースを確保することができた。
敷地内の舗装箇所を広げて除雪すると、駐車スペースや通学時の安全面も確保されると思う。ただ、それに伴う財源の問題、除雪隊員の除雪時間のスケジューリング等も含め、総務課、建設課とも検討していく必要があると思われるので、今後の課題としたい。



久慈省悟 議員

全文はこちら



高齢者世帯の雪対策を 考えているか

(村)災害救助法をもとに 費用の一部を助成する

Q 今年豪雪対策本部も設けられ、ものすごい雪だった。これは、過去を振り返れば、1945年の198センチに続く大雪だったそうだ。蓮田村も高齢化が進み、屋根の雪下ろしができない家庭もある。雪下ろしができないお年寄りの皆さんは、不安を抱える生活が続いた。

A (総務課長) 来シーズンも積雪量が100センチメートル以上に達して豪雪対策本部が

来年に向けて、そうした家庭について対応を考えていかなければならないのではないかと。



豪雪対策本部に依頼された落雪被害

設置された場合を想定して、災害救助法の要件をもとに高齢世帯などを対象に屋根の雪下ろし費用の一部の助成について考えていきたいと思う。

非課税世帯や高齢者世帯への対応は考えているか

Q 過去にある自治会の80歳近いお年寄りが屋根の雪下ろし作業をしている時に雪と一緒に屋根から落ちて両足を骨折してしまった。のちに退院はしたが、車椅子生活となり一生を終えてしまったという不幸な事例もある。こういう事故を未然に防ぐことも行政の考えていくところではないかと思う。

雪下ろしについては、本来であれば自費で業者に頼まなくてはいけないが、非課税世帯や立場の弱いお年寄り家庭に対しては、雪下ろし費用の補填と言わず、村で対応しなくては駄目なのではないかと思うが、村長はどのように捉えているのか。

A (八戸村長) 非課税世帯への対応は、災害救助法の対象要件の中に非課税世帯、高齢者世帯等が含まれているので、その分での役場の助成はする。ただ、ほかの一般の方と非課税世帯等で大きく差をつけて、職員が屋根に上った除雪等々は考えていない。あくまでも一部助成を進めていきたいと思う。

来シーズンに向けた体制づくりの考えはないか

Q 以前職員が屋根の雪下ろしをした経緯があるが、万が一事故が起こることも考えらる。職員にも家族がいるし、今の時代にそぐわないのではないかと思う。

また、今年豪雪下ろし作業を頼みたくても業者が見つからず大変だったと聞いている。来シーズンまでに屋根の雪下ろしの組織づくりをするべきではないか。

また、来年度に向け、予算上の考えはないか。
A (総務課長) そういったことも含め、近隣の町村の状況も調査しながら検討していきたいと思う。

議員の主な活動

2月5～6日	総務文教・産業建設常任委員会研修
2月14日	国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会開会式
2月20日	例月集会 新年度予算説明会 蓬田村表彰式 東津軽郡町村議会議長会総会
2月24日	議会運営委員会
2月27日	青森県町村議会議長会定期総会
3月2日	例月出納検査
3月3～6日	第1回定例会
3月10日	蓬田中学校卒業式
3月19日	例月集会 蓬田小学校卒業式
3月29日	第5分団ポンプ車入魂式
4月2日	例月出納検査
4月7日	小学校入学式 中学校入学式
4月9日	新船「かけはし」竣工式
4月21日	例月集会 広報編集委員会
5月7日	例月出納検査



2月20日 蓬田村表彰式



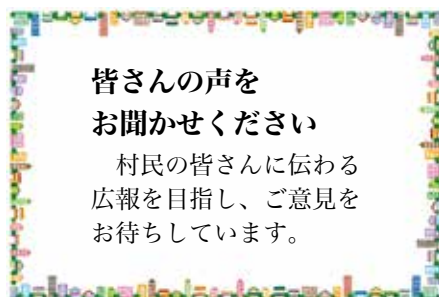
3月29日 第5分団ポンプ車入魂式



4月7日 中学校入学式



4月9日 新船「かけはし」竣工式



青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：川崎憲二
委員：吉田 勉
委員：乳井厳公
電話 0174-31-0833

編集後記

昨年は、令和のコメ騒動でコメ不足による備蓄米放出だったが、今は米価高騰によるコメ余り。ホタテは、昨年の高水温により稚貝が七割以上へい死するなど村の基幹産業を取り巻く環境は厳しさを増している。

世界情勢は長期化するロシア・ウクライナ戦争に加えアメリカ・イスラエルによるイランへの攻撃。中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰は、一次産業を営む生産者にとっては先行きが不安しかない。

一刻も早い停戦、原油・石油製品の安定供給を願うとともに戦争のない平和な世界になるよう、そして基幹産業である農業・漁業がこれからも持続、発展するよう祈念する。(かわけん)